

名前

1. 日本 2. ブラジル 3. アメリカ合衆国 4. オーストラリア

1. 領土の一部として、他国の船の航行を全面的に禁止できる権利	2. 周辺国の同意を得ることなく、自由に他国の領土を埋め立てる権利	3. 水産資源や鉱物資源などの自然資源を管理し、優先的に開発できる権利	4. 公海として、世界中のどの国も自由に軍事演習を行えるようにする権利
---------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

1. 満潮時に島が海面下に沈んで消失するのを防ぎ、周囲の広大な排他的経済水域を維持するため
2. 島の周囲に大規模な港湾施設を建設し、太平洋を航行する大型貨物船の補給基地とするため
3. 波による浸食を食い止めることで、将来的に多くの日本人が移住できる居住地を確保するため
4. 周辺海域に眠る石油資源を採掘するために、島全体を強固な海上プラットフォームに改造するため

1. 国後島と択捉島 2. 歯舞群島と択捉島 3. 択捉島と国後島 4. 歯舞群島と国後島

1. 沿岸から200海里以内の水域を指すが、資源の管理についてはすべての国が平等な権利を持つ。
2. 沿岸から200海里以内の水域を指し、魚介類や海底の鉱物資源を優先的に管理・開発できる権利を持つ。
3. 沿岸から500海里までの非常に広い水域を指し、他国の船の航行を完全に禁止することができる。
4. 沿岸から12海里以内の水域を指し、沿岸国の主権が及ぶため、外国の船は自由に通行できない。

1. 北方領土 2. 竹島 3. 小笠原諸島 4. 尖閣諸島

1. 12海里までを領海といい、その国の主権が及ぶ範囲である。	2. 24海里までを排他的経済水域といい、漁業資源を独占的に管理できる。	3. 12海里までを公海といい、どの国の船舶も自由に航行することができる。	4. 200海里までを接続水域といい、犯罪の予防などの権限が認められる。
---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

1. 東アジア最大級のブナの原生林が
広がる白神山

2. 独自の進化を遂げた動植物が数多
く生息する小笠原諸島

3. 火山活動によって形成された大規
模なカルデラを持つ阿蘇山

4. 海上に建つ独創的な建築様式を持
つ厳島神社

1. 海岸線の総延長が長く、内海における漁業権が歴史的に国際社会から認められているため
2. 大陸と陸続きになっていない完全な島国であり、周囲の海すべてを領海として主張できるため
3. 海上に点在する多くの島々を領土として保有し、それらを基点に水域が設定されるため
4. 領土の基点から200海里までの範囲を、他国の船が一切立ち入れない領海としているため

1. 沿岸国の主権が完全に及ぶ範囲を広げ、他国の船舶の通行を厳格に制限するため。
2. 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。
3. 沿岸からの距離に関わらず、深海にある資源はすべて国連の管理下に置くため。
4. どこの国にも属さない海辺の資源を、世界中の国々が自由に分け合うため。

1. 日本の排他的経済水域の面積は国土面積とほぼ同等であり、アメリカ合衆国のような大規模な開発は行われていない。
2. 日本は四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島を持つため、国土面積の十数倍にあたる広大な排他的経済水域を有している。
3. アメリカ合衆国は日本よりも離島の数が多いため、国土面積に対する排他的経済水域の割合は日本よりも高くなっている。
4. 日本は広大な大陸と接しているため、領海と排他的経済水域の範囲がほぼ一致しており、国土面積に対する割合も低い。

1. 与那国島 2. 沖ノ鳥島 3. 択捉島 4. 南鳥島

1. 与那国島 2. 択捉島 3. 沖ノ鳥島 4. 南鳥島